

富山県食品ロス削減推進計画 評価指標一覧(案)

計画の進捗を評価する指標

(1) 推進体制の整備

指標	定義	現状と目標			備考
		現状 (2019)	計画中間年 (2025)	目標年 (2030)	
食品ロス削減のための取組みを行っている人の割合	食品ロスの問題を認知し、削減に向けて何らかの取組みを行っている人の割合	80.9%	85%以上	90%以上	元気とやま創造計画参考指標より
県民1人1日当たりの食品ロス発生量	県内の家庭・事業所から発生した、県民1人1日当たりの食品ロスの量	約110g (2016)	2030年までの半減を目指して減少させる	2030年までの半減を目指して減少させる	元気とやま創造計画参考指標より

(2) 発生抑制に重点を置いた食品ロス削減の推進

指標	定義	現状と目標			備考
		現状 (2019)	計画中間年 (2025)	目標年 (2030)	
商品等選択時に消費行動が環境に及ぼす影響を考慮する人の割合	公正かつ持続可能な社会の実現のため、消費行動が環境に及ぼす影響を考慮する人の割合	37.0% (2018)	現状値以上	現状値以上	富山県消費者教育推進計画評価指標より
食品ロス削減について学習した子ども的人数	「とやま環境チャレンジ10事業」などに参加した児童の数の累積(2019年～)	3,022人	21,000人	36,000人	第3期富山県食育推進計画の進捗状況の説明参考指標より
商慣習見直し宣言事業者の登録数	食品ロス削減のための商慣習見直しに取り組む事業者の数	22社 (R2.2現在)	35社	50社	
「食べきり3015」協力店の登録数	宴会等で利用客に「食べきり3015」運動を呼びける飲食店の数	209店 (R2.2現在)	650店	720店	
「食べきりサイズメニュー」提供店の登録数	お客が食事量を選択・調整可能な「食べきりサイズメニュー」を提供する飲食店の数	167店 (R2.2現在)	500店	560店	

(3) 循環型社会を意識した食品ロス削減の推進や適正な再生利用の推進

指標	定義	現状と目標			備考
		現状 (2019)	計画中間年 (2025)	目標年 (2030)	
災害備蓄食料の活用率	賞味期限切れ前の災害備蓄食料を有効活用した割合	100%	現状維持	現状維持	
エコフィードの供給に取り組む事業者数	畜産農家にエコフィードを供給する事業者数	4事業者	10事業者	20事業者	